

河北新報

12月10日(土)
河北新報社
仙台青葉区五橋1-2-28
(郵便番号) 980-8680

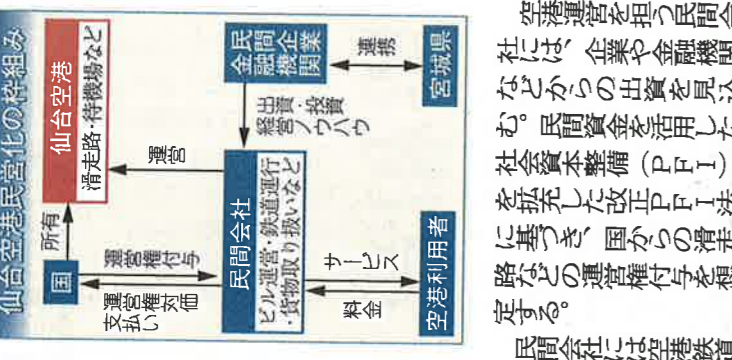
「東」は、未来
電話 (022) 211
読者相談室 1447
報道部 1127 販売部 1304
スポーツ部 1130 営業部 1318
夕刊編集部 1146 営業管理部 1312
生活文化部 1132 事業部 1332
総合案内 (022) 211-1111
ご購読申し込みは
0120-06-3746

宮城県

仙台空港の民営化検討

三セク3社を一元化

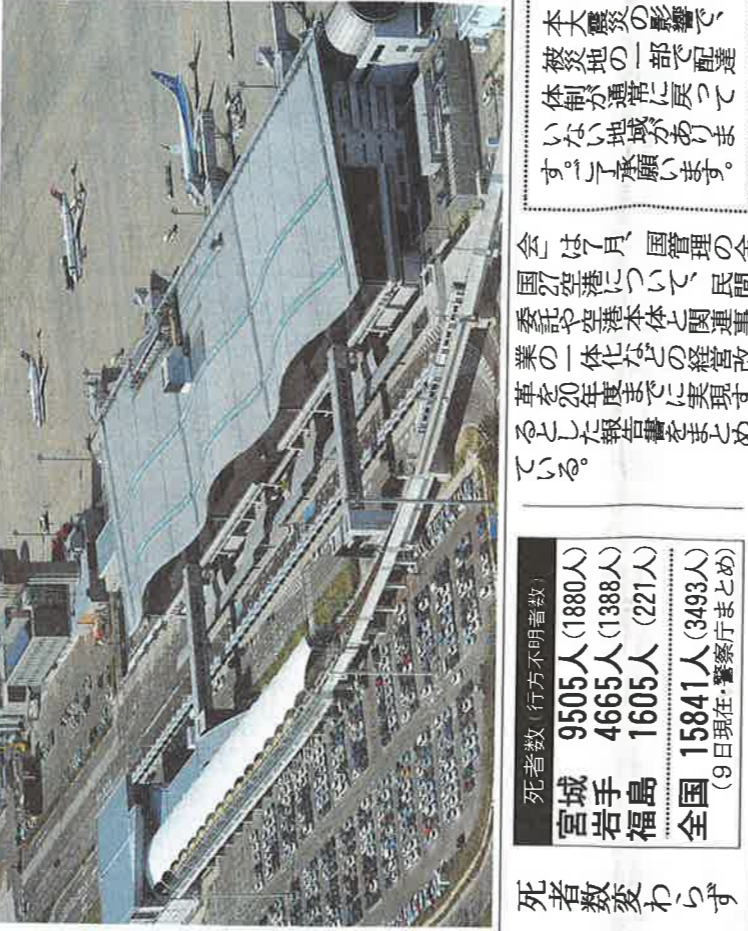
宮城県が、東日本大震災で被災した仙台空港の運営を民営化する方向で検討に入ることが9日、分かった。国が管理する滑走路などの運営と合わせ、県が出資する仙台空港鉄道など空港関連の第三セクター3社の経営を一元化し、民間会社に委託する。国に協力を要請し、2014年度の実現を目指す。



が担うアクセス線の運行、仙台空港ビルによるターミナルビルの運営、仙台エアカーゴターミナルの国際貨物の取り扱いの各業務を集約する。県は空港の経営効率化に向け、3社の一体経営が有効と判断。滑走路や待機場などの運営と組み合わせ、民間の経営ノウハウを活用することで空港の収益性向上や利便性確保を狙う。民間会社には空港鉄道

再生へ心ひとくに

宮城県が民営化の検討を始めた仙台空港
11月1日



死者数変わらず
東日本大震災の死者は9日現在の警察庁のまとめで、宮城、岩手、福島など12都府県の1万5841人と変わらなかった。死者

東日本大震災関連記事
住民の外部被ばく、最高で377シーベルト
東電が工程表、2.6兆円経費削減へ
山形県 避難者に冷や水
宮城県が120億円の追加補正案
年金特例解消 来年10月支給分から
トヨタ営業益57%減・12年3月期修正
浅田選手之母死去、帰国間に合わす

きよこの紙面

天気	9	4	7	2	9	0	11	2	10	3	8	4	20	16
東京	20	60	10	20	30	40	40	40	40	40	40	40	40	40
新潟	7	0	4	-2	3	-3	4	0	5	0	7	0	2	-5
名古屋	20	30	30	50	50	20	30	30	30	30	30	30	30	30
大阪	20	30	30	50	50	20	30	30	30	30	30	30	30	30
広島	20	30	30	50	50	20	30	30	30	30	30	30	30	30
福岡	20	30	30	50	50	20	30	30	30	30	30	30	30	30
那覇	20	30	30	50	50	20	30	30	30	30	30	30	30	30

27面に総合天気

残り3日
7日スタートから7日スタート展
12月10日(土)まで
最長営業時間

東北・新潟8新聞社共同広告企画
冬に親しむ北国のぬくもり
工夫と知恵で楽しく節電
今回は【新潟県!】

河北春秋
ね。最近のお母はそう言っている。大臣は、お二人を待たせている。一川保夫防衛大臣は先日も、政治家としての責任が重くのしかかっている。一方の山岡も、資格が問われている。ルネサンス業者や業界団体から献金や資金を受けたい。消費者担当は、悪法などによる消費者を防止するため、事業を監視するのが仕事です。参院本会議で、に対する問責決議案が賛成多数で可決された。両氏も「職責をきっちり果たしたい」として、辞任を考慮する意向を表明した。自民、公明両党は三つまた、野田佳彦首相は記者会見で、両氏を擁護させた意向を表明した。自民、公明両党は三つまた、野田佳彦首相は記者

昭和45年、「ゆかり」と命名。
三島食品
www.mishima.co.jp
「ゆかり」は三島食品株式会社の登録商標です。

一川・山岡氏問責可決

年明け小幅改造浮上

参院は9日午後の本会議で自民、公明両党が提出した一川保夫防衛相と山岡賢次消費者行政担当相に対する問責決議案を野党の賛成多数で可決した。野田佳彦首相は記者会見で、両氏を擁護させた意向を表明した。自民、公明両党は三つまた、野田佳彦首相は記者

公務員給与削減 郵政法案

首相「年内合意を」

第179臨時国会は9日、閉会した。これを多岐野田佳彦首相は同日午後、宮野記者会見し、継続審議となった国家公務員給与削減の臨時特別法案と郵政改革法案について、年内に与野党合意を得た上で、来年の通常国会での早期成立を目指す決意を表明した。消費

税引き上げ時期に関しては「経済状況を慎重に見極める」と述べ、関連法案に賛成を表明した。(4面に会合要旨、法律・法案の内容)
日本郵政売却など歳出削減と税収収入の柱となる法案が成立しないことについて「じくじたる思い」と述べた。歳出削減の取り組みとして、特別会計見直しと国の出先機関の原則廃止に向け「通常国会への法案提出を目指し、検討を加速すると述べた。選挙制度改革の早期具体化への決意を示した。消費税増税の関連法案を来年3月までに国会提出する方針については「不転換の決意」と重ねて表明した。

問責決議の結果
一川氏 投票総数 239 (過半数 120) 賛成 130 反対 109
山岡氏 投票総数 234 (過半数 118) 賛成 125 反対 109